

プラン名古屋の会のメンバー＝中村区で(同会提供)



経済援助に加え、フィリピンの子どもたちと長年手紙のやりとりをしてきた安藤さん＝中村区岩塚町で



続けてきた。年に一回は写真が添えられているといい「だんだん立派に成長していくのを見るのがうれし」と笑顔を見せた。

「マ」にした陶展が、中区栄三の画廊「橋本美術」で開かれている。ミミズクや鶏、ウなどの鳥をかたどったユーモラスな鉢や皿、花

### 町並み保存、防災 長野で意見交換

木曾三川の上流地域の住民が親交を深める「木曾三川と堀川 上下流をつなぐ交流会」が二十五日、木曾川上流域の長野県南木曾町で開かれた。新型コロナウイルスの影響で三年ぶりの開催で、名古屋市民を中心に五十人ほどが参加した。

同市の市民団体「堀川1000人調査隊」と木曾広域連合などでつくる実行委の主催。旧中山道妻籠宿で国重要文化財の脇本陣奥谷などを見学し、妻籠宿での町並み保存について説明を受けた。一九五三(昭和二十八)年と二〇一四年の土石流災害の碑も訪れた。

## 木曾三川と堀川 上下流の交流会

妻籠町並み交流センターでは、「防災」と「町並み保存」の二班に分かれて地元住民と意見交換。町並み保存で名古屋の出席者は「他の地域から移ってきた人もいるのか」「既以後継者はできているのか」などと質問していた。調査隊の服部宏事務局長(左)は「上流域、下流域それぞれの課題を、交流を通して自分たちのことと考えていければ、交流会は可能限り続けていきたい」と話した。(生田貴士)



意見交換する参加者たち＝長野県南木曾町の妻籠町並み交流センターで

大胆な絵付けが目立  
森さんの陶房「馬籠」は「三重県民の森」する緑濃い木立のり、陶房の周りで

見に来て  
遊びに来て

◇移住者向けの「学ツアー」長野県に位置する天龍村月、村への移住を育て世代向けに、育所の日帰り見学。村の担当者が社でPRした「写真移住の個別相談」き、村営住宅のいる。小学生以下の家族か、村をを検討している人同村で育った村地の小瀬水(こせみん)は「村の人たち面倒見がよく温か魅力を感じてもら」と話す。

With KIDS おてがけガイド おうちでも

しごと相談 7月2日前10時正  
午、瀬戸市栄町、バルティセと5階アリーナ、「ままのわフェスタ inせと」内ブース。再就職を考えている子育て中の女性の相談に専任方ウンセラが応じる。予約不要。(あいち子育て女性再就職サポートセンター)ママ・シヨブ・あいち 052(485)6996

いる女性を対象、周囲の人も居方も大切にしながら助けを求めるヘルプシーキング力を身に付ける。先着10人、無料。筆記用具持参。QRコードから申し込み。県労働協会 052(485)2996

◇夏のボサレイベント(高学年部) 8月6日前10時30分後4時、名古屋市中村区平池町、なごや地球ひろば。SDGsや国際理解に関するワークショップなど。小学4～6年生とその家族2人1組。定員10組。7月15日までにQRコードか、なごや地球ひろば案内人カウンターで申し込み。抽選で参加者を決める。参加費1組2000円

◇夏休みの過ごし方相談(小学生) 8月10日午前10時～午後2時、なごや地球ひろば。希望者のみ個別相談(30分程度)。無料。申し込みは9日前10までにQRコードで。青少年養育支援センター陽気会 052(751)4055

教室を募集し  
号を書き、の13の13「KIDS」係035。Eメール co.jpへ。